



6月11日 人権教育講演会
人権とは「幸せに生きる権利」



▲三笑亭可風さんらの軽妙な話芸で、来場者は楽しく人権に親しみました

落語と講談を楽しみながら、誰もが持っている人権に目を向けようと人権教育講演会が開催され、アミューズ豊田ゆやホールは310人の来場者で満員になりました。

講師の神田鯉風さん、落語家の三笑亭可風さん（磐田市出身）、桂竹千代さんの3人が講師を務め、「笑顔」や「元気」をテーマに落語や講談を披露しました。

6月8日 ヤマハ発動機(株)×ワークピア磐田
電動乗り物講座を開催しました



▲電動車いすなどの試乗を通じて、地元企業の取り組みを知りました

ヤマハ発動機(株)とワークピア磐田が協力し、東部小学校の6年生を対象に、電動乗り物講座を開催しました。

児童たちは、理科室で10円玉と1円玉を使った電池の実験を行ったほか、体育館で電動アシスト自転車や車いすの試乗体験をしました。大村響希さんは「たくさん力を入れる必要がなく、楽に移動ができました」と感想を話しました。

6月7日 第2回竜洋学府大交流会
小中学生がつながりを深めました



▲小中学生が参加するゲームにしゃべりも参加しました

ボランティアや地域の方の協力により、竜洋学府の小中学生1,426人が竜洋海洋公園に集まり、大交流会が行われました。学校の枠を越えて交流することで、地域の良さや人の良さ、自分の良さを見つけることを目的に開催されました。

みんなで一緒にスポーツやゲームをしたり、昼食を取ったりして交流を深めました。交流会の最後に、中学生は海岸や河口の美化活動も行いました。

6月2日 園児と高校生が一緒にあんパン作り
一緒に作るのもっとおいしいね



▲高校生のお姉さんたちと一緒に、上手にパンを作りました

長野幼稚園の年長児と磐田農業高校の生徒が一緒にあんパン作りを行いました。園児たちが自分でパンを作る楽しさを味わうとともに、高校生との交流を通じて、絆を深めることを目的に行われました。

こねたパン生地にあんこを詰めたり、チョコペンで絵を描いたりして、動物やキャラクターの形のパンを協力して作りました。焼きあがったばかりの手作りパンを食べ、みんな笑顔になりました。



6月13日 全日本小学生中学生アーチェリー選手権出場報告 目指せ！オリンピック出場



▲矢を射る時のフォームを渡部市長に披露しました

磐田が誇る次世代アスリートの1人、小林万里子さん（磐田東中2年）が全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会の出場報告をするため、渡部修市長を表敬訪問しました。

小林さんは、昨年はけがに悩まされましたが、自己ベストの記録が大会基準をクリアし、今年の全国大会に出場できるようになりました。これからの活躍に注目してください。

6月6日 とよおか買い物応援隊が出張販売 「自分で見て買物がしたい」に応えます



▲他の来場者と会話をしながら、買い物を楽しみました

豊岡地区の高齢者の買い物を応援しようと、地区の住民・福祉団体などで結成された「とよおか買い物応援隊」は、特別養護老人ホーム「梅香の里」で出張販売を行いました。新鮮な野菜や果物、衣料品などが販売され、約140人の来場者でにぎわいました。

希望者には会場への送迎も行われ、「普段1人ではなかなか買い物に行けないので、送迎があるとありがたいです」と来場者にとっても好評でした。

6月9日 豊田中学校で未来授業 将来のために大切なことを学びました



▲高井卓大朗さんたちのグループは柔道整復師や鍼灸師の仕事を学びました

地域の大人から働くことの意義や生き方について話を聞くことができる未来授業が豊田中学校で行われました。2年生127人がグループに分かれて研究職や、飲食業、ジュエリー作家、教育支援サービスなど、24職種26人の多彩な講師の話を聞きました。

遠藤大輝さんは「自分が疑問に感じていたことを直接質問できてよかったです。特別な授業で楽しかったです」と感想を話しました。

6月7日 磐田南幼稚園の園児がジャガイモ掘り体験 食べ物へ感謝の気持ちを持てる子へ



▲自分で収穫したジャガイモはどんな味だったかな？

磐田南幼稚園の年長・年中の園児92人が地域に住む鈴木守世さんの畑でジャガイモ掘りの体験を行いました。

園児たちは土の中から出てくる虫を怖がりながらも、大小様々なジャガイモをたくさん収穫しました。

収穫したジャガイモは、家庭に持ち帰ったほか、カレーパーティーで園のみんなで味わいました。パーティーには鈴木さんも招待されました。